

# Writer Interview

## ◎著者(講師)にきく 外国商標出願入門セミナー ～聴けばわかる! マドプロ&外国出願～

森 智香子

読者からのリクエストにお応えして、好評発売中の書籍『見ればわかる! 外国商標出願入門』のセミナーを開催中です。4人の講師(著者)にセミナーに対する意気込みや本書との違いなどについて伺いました。今月は弁理士の森智香子先生です。

※1) マカオについては、中国本土の特許出願・特許権を一定条件下、拡張するような制度が用意されている。

※2) 欧米ブランドの香港上場が相次いでおり、サムソナイトやブラダも上場を目指す。コーチは2011年中の上場を示唆している(2011年6月2日付 日本経済新聞より)。

—森先生は、書籍ではどの国の執筆を担当されたのですか?

中国と香港のパートを担当しました。

—7月に中国のセミナーをされていましたが、9月8日のセミナーでは、どのような講義をされるのでしょうか?

香港と澳門(以下、マカオ)の商標制度について解説する予定です。マドリッドプロトコル未適用で、同じく中国語が公用語である台湾と併せて効率よく説明したいと思っています。

—中国本土で商標権を取得しても、香港やマカオでは保護されませんか。

—そのとおりです。中国本土での商標権は、香港、マカオには拡張しません<sup>\*1</sup>。

—書籍とセミナーの違いは?

まず、マカオについては書籍では取り上げていません。

また、香港については本書の発行後、質問や反響が大きかったので、書籍では伝えられなかった実務について少しお話できればと考えています。

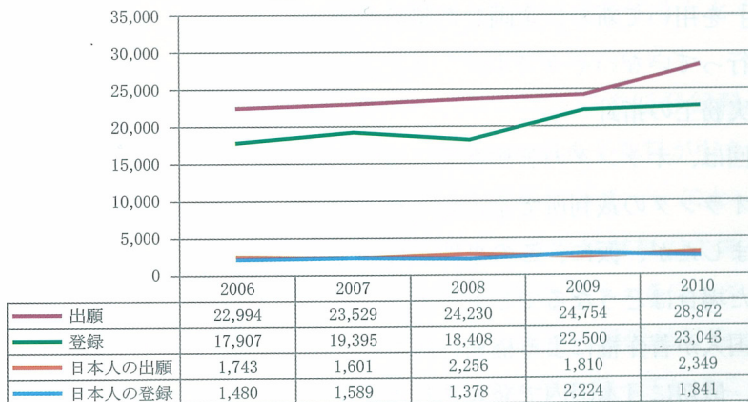
—そもそもマカオで商標登録する必要があるのでしょうか?

日本企業がアジアに進出する場合、模倣品問題の深刻さ、市場の大きさなどから、まずは中国本土での商標権の取得を考えるケースが多いのですが、その次にどの国に進出するかということは、個別的に選択していく必要があります。

その選択をするにも各国の制度や実情を知っておく必要があると思います。

今、アジアをはじめ、多くの国や地域で世界的なスタンダードに追いつけ追い越せで、知財制度の整備が進みつつある

【香港への商標出願件数】



※参考: 香港知識産権署HP

### 外国商標出願入門セミナー ～聴けばわかる! マドプロ&外国出願～

外国商標出願のスペシャリストが15の国や地域への出願方法や実務の留意点等について伝授。各国の商標制度を学びながら、3日間で世界一周!

#### ●日程と内容

平成23年7月7日(木) 10:00～17:00 **※終了しました。**

外国商標出願の基礎&マドプロの手続き / 野田 薫央氏  
中国 / 森 智香子氏

平成23年8月29日(月) 10:00～17:00

欧州 / 葦原 エミ氏  
オーストラリア / 瀧澤 文氏  
ブラジル、ロシア、インド / 大塚 一貴氏

平成23年9月8日(木) 10:00～17:00

韓国、ベトナム、タイ、台湾、香港、マカオ / 小暮 理恵子氏 他  
米国、カナダ / 芦田 望美氏

●場所: 発明会館7階研修室(〒105-0001東京都港区虎ノ門2-9-14)

※申し込み/問い合わせ先: 発明協会 研修チーム 担当: 小山 Tel. 03-3502-5439



状況です。中小企業だけでなく、大企業であっても、どこに手を付けて、どこに手を付けないのか、手を付けたとした場合、どの範囲が妥当なのかということを考える必要性が今まで以上に出てくるのではないかと考えています。

——香港についてはどうでしょう。

香港は、海外進出の拠点として、人気が高い地域です。

中国本土の経済の自由化が進めば進むほど、香港の優位性はなくなるといわれ続けて久しいですが、いまだに香港の人気が高いことは、欧米企業をはじめ多くの海外企業が参入していることから分かります<sup>※2</sup>。

香港への商標出願件数は、2006年では2万件台前半でそこから少しずつ上昇しているのですが、日本企業／個人の出願割合は1割以上を維持しています（前ページ表参照）。香港の商標制度を知っておく重要性は高いと思いますね。

——本誌の読者だけにポイントを教えてください。

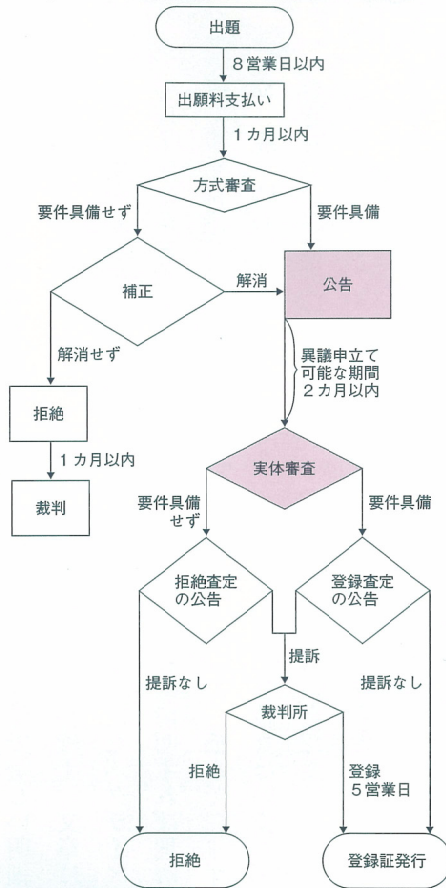
それでは、情報が少ないマカオの商標制度を少しだけ……。

マカオの商標出願から登録の流れは大まかに右記のフローチャートようになります。方式審査通過後、すぐに公告され異議申立て可能な期間が始まります。公衆審査の役割を果たす異議申立てを出願～登録までの早い段階に設けているところが特徴的かと思います。

また、フローチャートにすべてを書き

切れなかったのですが、「○営業日」のように処理期限を細かく公表しているところも特徴の一つです。

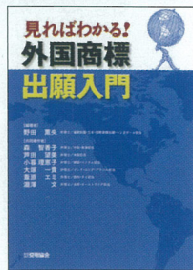
【マカオの商標出願から登録までの流れ】



森 智香子

Sun East知的財産事務所所長・弁理士(特定侵害訴訟代理業務付記登録) 米国スカジットバレーカレッジ、関西大学法学部卒業  
日本弁理士会意匠委員会委員、著作権委員会委員、INTA Bulletin Committee、早稲田大学理工学術院非常勤講師等を務める。  
本誌「Special Reports」の執筆のほか、「CIPICジャーナル」「知財管理」「China IP」等への寄稿多数。  
商標・意匠関連案件を専門に取り扱い、国内外の商標出願や登録手続きに精通。中国の知的財産に関する講演や知的財産管理技能検定の問題集の執筆等、多岐にわたって活躍中。料理が得意で、日々、新たなメニューにトライしているという。

書籍紹介



- 第1章 本書の使い方
- 第2章 基礎知識編
- 第3章 各国・地域制度一覧表
- 第4章 日本編 (日本、マドプロ)
- 第5章 欧米編 (米国、欧州共同体)
- 第6章 アジア編
- 第7章 その他編 (オーストラリア、ロシア、インド、ブラジル)

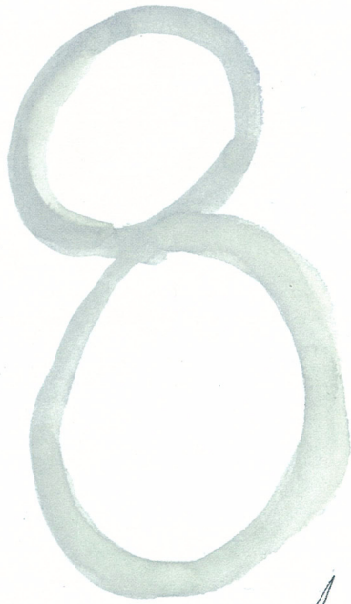
A 5判 340頁 定価3675円 (税込み) 送料340円  
<http://www.jiii.or.jp/> 発明協会ホームページ  
 特許電子図書目録からお買い求めいただけます。



AUGUST.2011

発明

T H E I N V E N T I O N



AUGUST

特集

平成23年度 全国発明表彰 恩賜発明賞受賞者にさく